

人に尽くす生き方

校長 高橋 忠太郎

明けましておめでとうございます。昨年は、開校 40 周年記念行事をはじめとして、本校に対し多大なるご支援を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。本年も、子供たちの成長のため、心新たに教育活動に邁進していく所存です。ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

年末年始に読んだ記事に、興味深いものがありましたので、そのことについて少し紹介させていただきます。それは、『スポック博士の育児書』という本を題材にして書かれたものです。私は、題名を聞いたことがある程度で、この本を読んだことがありませんし、当然内容についての認識もありませんでした。でも、この文章をお読みになっている方の中には、この書を読んだり、内容を知っていたりする人も多いのではないかと思います。

『スポック博士の育児書』は、『The Common Sense Book of Baby and Child Care (赤ちゃんの子供の育児の常識についての本)』という原題で、1946 年に刊行された育児書です。これまで 42 カ国語に翻訳され、世界で 5 千万部も発行されたという大ベストセラーです。

「育児の聖書」のように言われ、日本でも翻訳版が第 6 版まで版を重ねて出版されているようです。著者のベンジャミン・スポック (1903~1998) は、アメリカの著名な小児科の医師で、反戦平和や環境保護の活動家としても有名です。彼がこの本で唱えた育児の在り方については、時代を経るごとに様々な異論も出され、論争を引き起こしたりもしたようですが、全世界に多大な影響を与えたことは間違いありません。ところで、そのスポック博士が、「育児書を書くよりも、現実の子育てはもっと難しい」と言ったという程ですから、人を育てることが、いかに大変な労作業であるかが分かるというものです。

また、ベンジャミン・スポックは、ある講演の中で、次のような言葉を残しているそうです。私たち教育に携わるものにとって、大変示唆に富む内容です。スポックは、「こんなひどい世の中で、私たちができることがたった一つ、残されている」として、それは子供たちを「自分さえよければ、といった人間でなく、人はもともと、自分以外の人に尽くすために生まれてきたのだと思う人間に育てること」であると言っています。私はこの言葉に触れた時、瞬間的に思い起こしたことがあります。それは、NHKスペシャル「ヒューマン 人間はなぜ人間になれたか」というテレビ番組でした。その番組の中では、チンパンジーと比較して「自発的に助け合う」ことが人間の特徴であり、助け合う「遺伝子」を持った人間が生き残ったのではないかという説も紹介されていました。気のせいでしょうか、最近、人間が幸福になるためには、「他者に尽くすことが大切である」という考え方に触れることが多いように感じます。そして、それはまっとうな考え方であるという気持ちも強くもっています。自分の子供には幸せになってもらいたい、幸福な人生を生きてほしいというのは、世界中の親の願いと言っていいでしょう。ベンジャミン・スポックの言葉は、「子供が幸せに生きるために何を教えていく必要があるか」を考えるためのヒントになりそうです。記事では最後に、そしてそのために (人に尽くす生き方を教えるために) 何が大事であるか。それは、自ら親が、地域や社会に積極的に関わり、「世の中の問題を解決するのに直接役立つ」としてしている姿を、子供たちに示していくことである、というスポックの言葉を紹介していました。親に限らず、子供と接する大人たち全てに必要なことであると感じたところです。

1月の行事予定

1	日	元日	16	月	身体計測(1・2年) クラブ 避難訓練 読書旬間始
2	月	振替休日	17	火	読み聞かせ(上)
3	火		18	水	校内研究会のため午前授業
4	水		19	木	社会科見学(4年)
5	木		20	金	体育館片付け(6年)
6	金		21	土	
7	土	冬季休業終	22	日	
8	日		23	月	クラブ 校内書き初め展始
9	月	成人の日	24	火	社会科見学(3年)
10	火	始業式 委員会 給食始 水曜時程	25	水	読み聞かせ(下)
11	水	安全指導	26	木	
12	木	身体計測(5・6年)	27	金	読書旬間終
13	金	身体計測(3・4年) 読み聞かせ(下)	28	土	
14	土	土曜授業 もちつき大会	29	日	
15	日		30	月	
			31	火	

【リトルティーチャー】12月1日

南が丘中学校の1年生が来校し、2年生が学習中の「かけ算九九」を聞いてもらう検定会をしました。2年生2人に中学生1人が担当してもらえたので、たくさん聞いてもらうことができたり、励ましてもらえたりしたので頑張れた、楽しかったという感想を話していました。南が丘中学校の皆さん、ありがとうございました。



【道具を大切に】

放課後に校庭開放を利用して元気よく遊ぶ子が多いのはとても素晴らしいことです。ただ、遊び道具の使い方が悪いために、道具が壊れることが多いようです。個人面談の時期に昇降口に展示をしていたので、ご覧になった方もいらっしゃると思います。みんなで使うものを大切に扱うという意識を学校でも家庭でも指導していきましょう。



【勤労感謝給食】12月8日

子供たちがお世話になっている地域の方や主事さん方、講師の先生方をお招きし、勤労給食会を実施しました。感謝の気持ちを伝えるよい機会になりました。いつもありがとうございます。



【不審者対応訓練】12月14日

避難訓練の一貫で不審者対応訓練をしました。学校評議員・安心安全ボランティアリーダーの鈴木昭男さんに不審者役と講師をお願いしました。不審者を確保するための「さすまた」の効果的な活用方法や護身術など教えていただきました。子供たちの安全を守るために学校として万全の準備をしていきます。



校内書き初め展 1月23日(月) から 2月4日(土)

日本には、お正月の行事として「書き初め」があります。学校でも国語の時間に、1・2年生は硬筆習字、3年生以上は毛筆習字に取り組んでいます。冬休みにもたくさん練習したことと思います。1月の国語の時間に書き上げた作品を校内に展示しますのでご覧ください。

